

Business Report 2015

第41期 中間事業報告書

平成27年1月1日～6月30日



Restaurant
Joyfull

Business Report 2015

第41期中間事業報告書

Restaurant
Joyfull

経営理念

Management
Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、
顧客・株主・従業員・取引先・社会の、
精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い

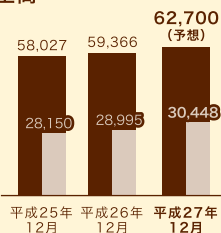
Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、
どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、
永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

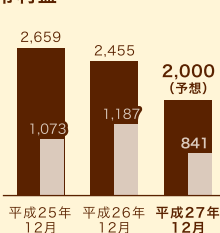
連結業績 ハイライト

Consolidated
Results

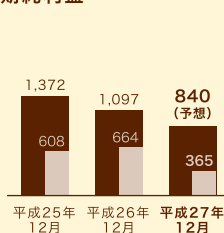
売上高



経常利益



当期純利益



■ 通期 ■ 第2四半期累計 ※単位百万円

株主の皆様へ

上期は次の時代にむけた準備と 足元の環境改善に努めてまいりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第41期(平成27年12月期)の
中間事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成27年上期の日本経済は、欧州ギリシャの財務問題に端を発した
債務問題の高まりはあったものの、雇用・所得環境が着実に改善しまし
た。輸出や設備投資についても持ち直しており、全体として穏やかな回
復を継続している状況で推移いたしました。

それにとまなう消費マインドの持ち直しは認められるものの、当外
食産業におきましては、従来からの異物混入問題など食の安全に対
する不信任や、円安の定着による原材料価格の高止まりなどから、引
き続き厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社ではビジネスモデルの根幹である「安心・
安全、そしてお値打ち感のある商品の提供」と「お客様視点にたった
サービスの実践」に継続的に取り組んでまいりました。

商品施策においては、商品開発プロセスを強化し、お客様の消費動向と
多様化するニーズに対応した商品施策を推進いたしました。

商品力、品質の向上を目的として、5月にグランドメニューを改定、従来の
洋食・和食系メニューに加え、新ジャンルで中華風メニューを追加いたしま
した。また、次の時代を見据えて、60歳以上のお客様を対象にモーニングメ
ニューを全時間帯ご提供する施策を実施したほか、その他のお客様に対し
ましても、モーニングメニューの提供終了時間をこれまでの午前10時から、
1時間繰り下げ11時までとして、今後の日本の人口構成や産業構造を鑑
み、お客様のニーズの変化に対応する取り組みを行なってまいりました。

これらの施策がお客様から好評を博し、既存店の売上高で、前年を上回る
ことができました。

ビジネス拡大にむけては、前年同期比約2倍となる21店舗を新規

出店いたしました。東京23区内では初の出店となるジョイフル赤坂
店もこれに含まれます。同時に、既存店舗のリニューアルにも並行して
取り組みました。

従来より課題として取り組んでいる店舗社員やパート・アルバイト
の「採用と定着」に関しても引き続き取り組んでおります。

以上の結果、当期第2四半期連結累計期間の状況は全店売上
高は304億4千8百万円となり、売上高前年同四半期比で5%増
となりました。営業利益は8億2千4百万円、経常利益8億4千1
百万円、純利益3億6千5百万円となりました。

売上高は2期連続増収、経常利益は2期ぶりの減益となります。減
益の主な要因は、原材料価格の高騰に伴う原価率の上昇、および新
規出店等に伴う関連費用の増加によるものです。

平成27年下期におきましても、
さらなる業務の改善を行い、ご期
待にそえる経営活動を行なってま
いりますので、株主の皆様におか
れましては、今後とも当社へのご理
解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

代表取締役社長

穴見 くるみ





※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

平成27年上期 主な取り組み結果

商品施策

グランドメニューに新ジャンル 中華風

上期の商品施策では、5月に実施しましたグランドメニューの改定に併せて、当社が従来取り扱っておりました洋食・和食系の料理に加えて、中華風のメニューを、新ジャンルとして登場させております。

当社が主に店出しております地域では、中華料理の他社チェーン店舗が少ないこともあり、お客様の潜在ニーズがあるのではないのか、といった視点からここ2年間商品開発に取り組んできたものであります。

販売開始後、野菜ちゃんぽん(右写真)を中心にお客様のご注文が日を追って増えてきており、今後が楽しみな新ジャンルとなっております。



野菜ちゃんぽんとユウリンチー
※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

営業および人材育成施策

店舗従業員、労働環境の更なる改善

第40期通期事業報告書の「平成27年(第41期)の主な取り組み」でご案内しておりましたが、本年上期はパート・アルバイトを含めた従業員の安定した採用数の確保と定着率の向上に取り組んでまいりました。

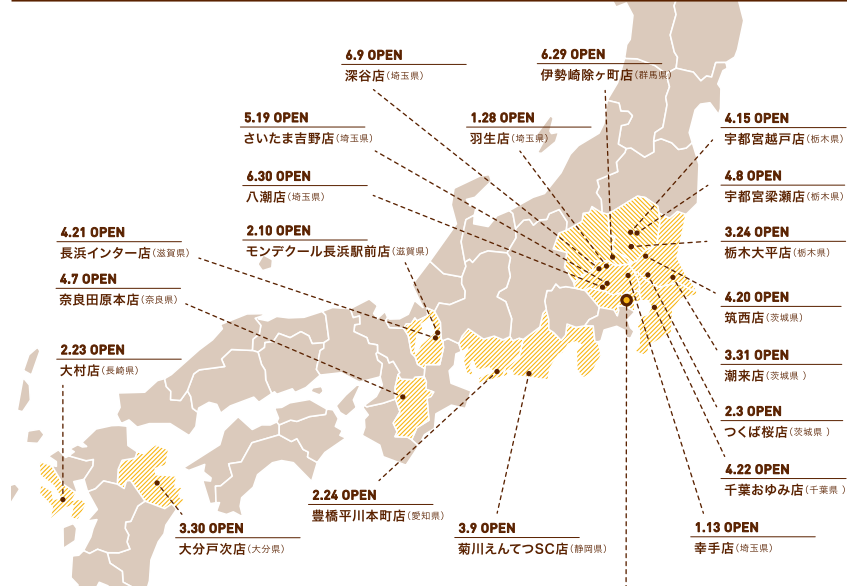
そのような中、注力しております施策が「従業員の労働環境の更なる改善」であります。外食産業の労働環境は概して厳しいのではないかといった風評があるなか、法の順守はもとより、当社は業界トップレベルの良き労働環境を構築すべく、様々な施策を講じ、店舗従業員を中心に、その負担の軽減策を実行しております。



ジョイフル店舗従業員

出店施策

上期21箇所に新規出店



年間新規出店目標数 35店に向かって

平成27年は、年間の新規出店目標数を35店舗としておりますが、本年6月末の段階で、既に21店舗出店しております。他の大手ファミリーレストランの国内出店が減少するなか、地方の小商圈においても、採算のとれる仕組みを有している当社の強みが、ここにきて力を発揮しております。今後も経営基盤の安定感を保持しつつ、当社の今後の成長のため、店舗数を着実に増やしてまいります。

4.14 OPEN 赤坂店(東京都)



ジョイフル赤坂店(4月14日オープン)

東京23区内に初出店 ジョイフル赤坂店

民放キー局をはじめ各TV局で、ジョイフル赤坂店の出店に関する特集が放映されました。



左/27年3月 TBS「Nスタ」 中/27年5月 TOS「ゆ〜わくワイド」 右/27年6月 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」

日本の都心 赤坂への出店経緯

関西以东、特に関東エリアを中心に新規出店を計画しております中、まだ認知度が不足している東日本地区のお客様をはじめ、関係者の方々にジョイフルを知っていただくための「ショールーム」的な存在になればと考えて赤坂店を出店いたしました。4月にオープンした同店ですが、テレビをはじめ、多くのメディアに取上げられ「東日本地区でのジョイフルの認知度アップ」に寄与することができました。



※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。期間限定のメニューの場合、販売が終了している場合がございます。

平成27年下期 主な取り組み

食 品 衛 生 施 策

食の安心・安全、さらに高いレベルを

前年から本年初頭にかけて、大手ハンバーガーチェーンの食品管理に対する不信報道が続き、当社をご利用のお客様も、これまで以上に高いレベルの食の安心・安全を求めておられます。そのような中、自社工場の品質管理はもとより、取引先工場の管理・監督システムもさらに強化してまいりました。

また、その要となります自社の品質検査部署も人員の補強とその質の向上をおこなっており、これまで以上に検査体制の充実をはかっております。

下期におきましても、品質管理の最終段階となります店舗での食材の管理面で、店舗従業員への研修会の実施、作業場での実地指導等を不断なく実行してまいります。



当社品質検査室 食材品質検査業務

従 業 員 教 育

お客様のご期待に、応えていくために

既存店の売上高が前年下期に引き続き、本年上期も前年を上回ったことは、全従業員の大きな励みとなっております。

この流れを継続するために、これまで以上に日々お客さまからお寄せいただく様々なご意見を、真摯に受け止め、改めるべき点は速やかに対応させていただいております。

なお下期は、上期にいただいたお客様のご意見を取りまとめ、発生した課題に優先順位をつけ、お客様のご期待に応える店舗運営を行ってまいります。



笑顔がある客席

次の時代を見据えての戦略

急速に進む少子高齢化や、産業構造の変化に合わせ日本人のライフスタイルも変わってきている中、それらへの対応が、各企業に求められております。当社におきましても、お客様の潜在的なニーズに相応した適宜適切な施策の実行が、必要となっております。

今回のモーニングメニューに関連する2つの営業施策はその一環で、60歳以上のお客様には、店舗の営業時間中は、いつでもモーニングメニューを召し上がっていただけるようにいたしました。

また、その他のお客様にも、販売時間をこれまでより、1時間延長し、午前11時までモーニングメニューをご注文いただけるようにしております。

いつでも おはようメニュー

60歳以上のお客様は、営業中全時間帯でモーニングメニューをご利用いただけます。

ジョイフルのモーニングメニューは、和洋6種類と毎日飽きのこないメニューを取り揃えており、全品ドリンクバー付で食後のひと時もごゆっくりとお過ごしいただける商品構成としています。価格も390円～590円(税別)とリーズナブルです。

※「いつでもおはようメニュー」一部未実施の店舗がございます。当社HPでご確認ください。



幕の内朝食(ドリンクバー付) 490円(税込530円)

メディアも注目！

本年上期、新聞・TV・雑誌の計14社がジョイフルのモーニングメニューを報道



左/27年2月10日(火) 朝日新聞 全国版経済面 右/27年5月12日(火) 日本経済新聞 九州経済面

連結財務諸表

Consolidated Financial Statement

資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は252億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千7百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少、有形固定資産の増加によるものであります。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は106億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千万円の減少となりました。これは主に買掛金、未払消費税等、未払法人税等、長期借入金の減少、短期借入金、未払費用の増加によるものであります。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は145億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千3百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

売上高

売上高は前年第2四半期累計期間と比較し5.0％増の304億4千8百万円となりました。主な要因は、新規出店による売上高の増加があったことと、モーニングメニューに関わる施策を含め新たな商品戦略が功を奏したことで、既存店の売上高が前年同四半期累計期間比101.3％と好調に推移したことによるものです。

経常利益

経常利益は前年第2四半期累計期間と比較し29.1％減の8億4千1百万円となり、前年同四半期差では3億4千5百万円の減益となりました。減益の主な要因は、売上高は上記のとおり増収となったものの、原材料価格の高騰に伴い、原価率が前年同四半期累計期間より0.95ポイントあがったことに加え、新規出店に伴う関連費用等の増加によるものです。

連結貸借対照表(要旨)			(単位:百万円)
科 目	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年6月30日)	
資産の部			
流動資産	5,605	4,664	
固定資産	19,855	20,599	
有形固定資産	14,890	15,569	
無形固定資産	67	70	
投資その他の資産	4,898	4,959	
資産合計	25,461	25,264	
負債の部			
流動負債	7,992	7,538	
固定負債	2,979	3,153	
負債合計	10,972	10,691	
純資産の部			
株主資本	14,518	14,589	
資本金	6,000	6,000	
資本剰余金	2,390	2,390	
利益剰余金	9,899	9,971	
自己株式	△3,771	△3,771	
その他の包括利益累計額合計	△29	△17	
その他有価証券評価差額金	11	16	
純資産合計	14,489	14,572	
負債純資産合計	25,461	25,264	

連結損益計算書(要旨)			(単位:百万円)
科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	
売上高	28,995	30,448	
売上原価	10,167	10,965	
売上総利益	18,828	19,483	
販売費及び一般管理費	17,688	18,658	
営業利益	1,139	824	
営業外収益合計	91	61	
営業外費用合計	44	44	
経常利益	1,187	841	
税金等調整前四半期純利益	1,187	812	
法人税、住民税及び事業税	487	309	
法人税等調整額	34	137	
少数株主損益調整前四半期純利益	664	365	
四半期純利益	664	365	

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			(単位:百万円)
科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	
営業活動による キャッシュ・フロー	2,250	742	
投資活動による キャッシュ・フロー	△417	△1,153	
財務活動による キャッシュ・フロー	△790	△507	
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,042	△919	
現金及び現金同等物の 期首残高	3,074	3,288	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,116	2,369	

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は7億4千2百万円(前年同四半期比67.0％減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益8億1千2百万円、未払費用の増減額6億4千4百万円、減価償却費5億5千2百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額5億6千8百万円、未払消費税等の増減額4億4千6百万円、仕入債務の増減額4億4千5百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

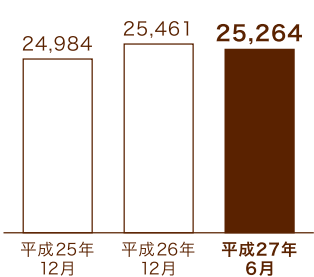
投資活動の結果使用した資金は11億5千3百万円(前年同四半期比176.1％増)となりました。支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産取得による支出9億3千4百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は5億7百万円(前年同四半期比35.7％減)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増額5億円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出6億9千8百万円、配当金の支払額2億9千3百万円であります。

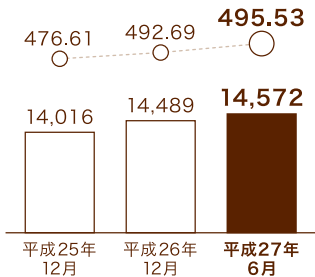
総資産

単位:百万円



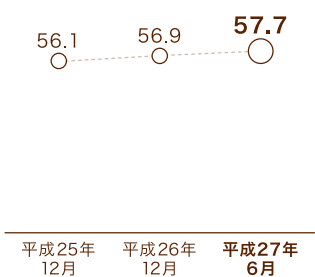
純資産

□ 純資産 単位:百万円
○ 1株当たり純資産 単位:円／銭



自己資本比率

単位:％



株式情報
Stock
Information

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000 株

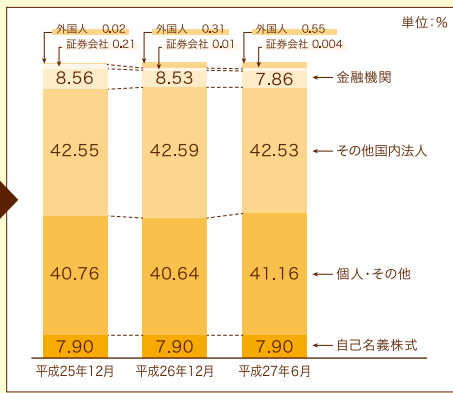
発行済株式総数
31,931,900 株

株主数
12,447 名

株式の所有者別状況

	平成25年12月31日現在		平成26年12月31日現在		平成27年6月30日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	9	6,598	9	4,572	6	1,364
外国人	14	66,100	18	99,400	24	174,500
金融機関	14	2,732,962	14	2,725,162	14	2,508,562
その他国内法人	77	13,585,980	82	13,600,080	81	13,580,480
個人・その他	11,027	13,016,678	11,577	12,978,822	12,321	13,143,130
自己名義株式	1	2,523,582	1	2,523,864	1	2,523,864
合 計	11,142	31,931,900	11,701	31,931,900	12,447	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

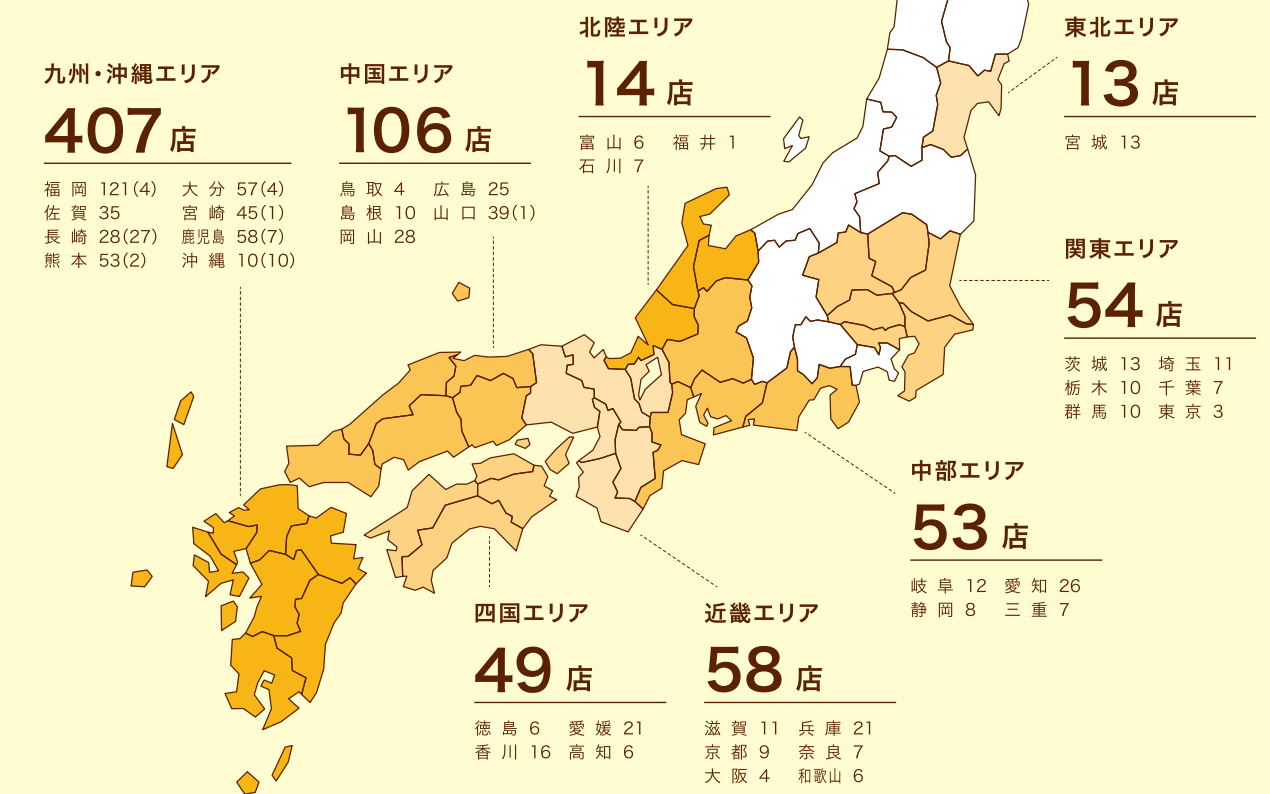
事業年度
定時株主総会
基準日
毎年1月1日から12月31日
毎年3月
定時株主総会の議決権／毎年12月31日
期末配当金／毎年12月31日
中間配当金／毎年6月30日(中間配当を実施する場合)
単元株式数
株主名簿管理人
100株
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関
郵便物送付先
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
(電話照会先)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。
公告の方法
電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL
http://www.joyfull.co.jp/
上場取引所
福岡証券取引所

◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社にお申し出ください。
◎未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に
お申し出ください。
◎「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措
置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告
を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいて
おります。※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

会社情報・
店舗情報
About Us

店舗一覧 店舗ネットワーク

754 店
うちFC店舗56店
※()内はFC店舗



会社概要 (平成27年6月30日現在)

社 名	株式会社ジョイフル	創 業	昭和40年6月
本 社 所 在 地	大分県大分市三川新町一丁目1番45号	創 立	昭和51年5月
大 分 工 場	大分県大分市三川新町一丁目1番45号	資 本 金	60億円
大分配送センター	大分県大分市下郡3410番1号	主 な 事 業 内 容	「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号	連 結 子 会 社	株式会社ジョイフルサービス
愛 知 工 場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号		



Restaurant
Joyfull

株式会社ジョイフル

〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131 (代)

<http://www.joyfull.co.jp/>